

平成 33 年度（2021 年度）長野県看護大学入学者選抜についての予告

本学では、平成 32 年度（2020 年度）に実施する平成 33 年度大学入学者選抜を次のとおり変更する予定です。

I. 大学入学者選抜における基本方針

1. 学力の 3 要素の評価

すべての入学者選抜区分において、学力の 3 要素（注 1）を評価します。

注 1 学力の 3 要素：①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」

2. 提出書類の活用

提出された書類（注 2）を、すべての入学者選抜区分において、合格者の判定に活用します。なお、学校推薦型選抜にあつては、推薦書も判定の際に併用します。

注 2 提出書類：調査書、活動報告書、大学入学希望理由書、学修計画書

3. 大学入学共通テストの活用

大学入学共通テストを、一般選抜と一部の学校推薦型選抜において出願者に課します。

なお、大学入学共通テストの英語試験（リスニングを含む。）も合格者の判定に活用します。

4. 英語の外部検定試験（大学入試センターによる認定試験）の活用

英語の 4 技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を評価するために、英語の資格・検定試験（認定試験）を一部の学校推薦型選抜及び社会人選抜において活用します。

5. 個別学力試験における面接試験及び小論文試験の実施

すべての入学者選抜区分において面接試験を実施し、その際に出願者本人が記載する資料（注 3）を評価に活用します。また、一般選抜および一部の学校推薦型選抜で小論文試験も実施します。

注 3 志願者本人が記載する資料：大学入学希望理由書、学修計画書

II. 大学入学者選抜の実施概要

1. 入学者選抜区分の変更

入学者選抜試験の区分および名称を次の通り変更します。

変更前	変更後
一般入試（前期日程）	一般選抜（前期日程）
一般入試（後期日程）	一般選抜（中期日程）
推薦入試	学校推薦型選抜 A
	学校推薦型選抜 A （地域特別枠）
	学校推薦型選抜 B
社会人入試	社会人選抜

2. 一般選抜の変更点と概要

一般選抜はこれまでと同じく2つの区分で試験を実施しますが、現行の後期日程については公立大学中期日程に変更します。これらの区分では合格者の判定に大学入学共通テストを活用し、小論文試験と面接試験も合わせて行います。また、学力の3要素を評価するために提出書類も活用します。

3. 学校推薦型選抜及び社会人選抜の変更点と概要

現行の選抜方法による推薦入試（これを学校推薦型選抜 A とします。）に加え、全国の高等学校または中等教育学校の卒業見込み者で、本学を修了した後に長野県内において医療従事者として就業しようとする者を対象に、大学入学共通テストを課す「学校推薦型選抜 B」を新たに導入します。また、「学校推薦型選抜 A」については、卒業後に長野県内の過疎地域において、医療従事者として就業しようとする者を対象に、特別枠での募集も合わせて行います。

学校推薦型選抜及び社会人選抜についての主な変更点と概要は次の通りです。

選抜区分	主な出願資格等	選抜方法	実施時期
学校推薦型選抜 A	現行の推薦入試における出願資格について追加あるいは変更される主な事項 ● 調査書の「学習成績の状況」 ¹⁾ が本学の指定する基準以上である者 ● 大学入試センターが認定する英語の資格・検定試験成績を有する者 ²⁾	● 小論文 ● 面接 ⁴⁾ ● 提出書類 ⁵⁾	12月上旬
学校推薦型選抜 A (地域特別枠)	学校推薦型 A の出願資格に加え以下を満たす者 ● 卒業後に長野県内の過疎地域 ³⁾ で医療に従事しようとする者		
学校推薦型選抜 B	● 高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者 ● 調査書の「学習成績の状況」 ¹⁾ が本学の指定する基準以上である者 ● 卒業後に長野県内で医療に従事しようとする者 ● 合格した場合に必ず入学する者	● 大学入学共通テスト ● 面接 ⁴⁾ ● 提出書類 ⁵⁾	1月下旬から2月上旬
社会人選抜	現行の出願資格に加え以下を満たす者 ● 大学入試センターが認定する英語の資格・検定試験成績を有する者 ²⁾	● 小論文 ● 面接 ⁴⁾ ● 提出書類 ⁶⁾	12月上旬

1) 現行の「評定平均値」、2) 例えば英検準2級以上に相当する資格、3) 過疎地域自立促進特別措置法第2条1項指定の過疎地域、4) 大学入学希望理由書及び学修計画書についての評価を含む、5) 調査書、推薦書、活動報告書、6) 調査書、個人調書（履歴書）

4. 大学入学共通テストの利用

一般選抜（前期日程・中期日程）と学校推薦型選抜 B では、大学入学共通テストを合格の判定に活用します。各選抜で必要となる教科・科目は次の通りです。なお、大学入学共通テスト実施方針に示された出題教科・科目が変更される場合には、本学の選抜試験においても見直しを行うことがあります

選抜区分	教科	科目
一般選抜（前期日程）	国語	「国語」
	地歴・公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理,政治・経済」から1科目を選択
	数学	「数学 I」、「数学 I・数学 A」、「数学 II」、「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目を選択
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2科目を選択または「物理」、「化学」、「生物」から1科目を選択
	外国語	「英語（リスニングを含む）」
		5教科5科目または5教科6科目
一般選抜（中期日程） 学校推薦型選抜 B	国語	「国語」
	数学	「数学 I」、「数学 I・数学 A」、「数学 II」、「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目を選択
	外国語	「英語（リスニングを含む）」
		3教科3科目

*これまでとの変更点：英語についてはリスニングを含みます。

5. 英語の外部検定試験（大学入試センターによる認定試験）の活用

英語の4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を評価するために、英語の資格・検定試験の成績を、学校推薦型選抜 A および社会人選抜において出願要件の一つとして活用します。採用する試験は、大学入試センターが認定する「認定試験」のうちから本学が指定します。また、出願の際に必要なグレード等については、文部科学省から提示される「CEFR の段階別成績表示による対照表」にもとづいて後日に公示します。現在のところ、日本英語検定協会による「英検」の準2級以上に相当する資格・得点を予定しています。

6. 提出書類の活用

すべての選抜区分において、提出された書類を学力の3要素の評価に活用します。出願者自身が記述する大学入学希望理由書および学修計画書については、すべての選抜区分において実施する面接試験の際に評価し合格の判定に活用します。

7. 学力の3要素の評価方法

学力の3要素については、大学入学共通テスト、小論文試験、面接試験、提出書類の審査を通して評価を行います。各選抜区分における評価方法は次の通りです。

- (1) 一般選抜（前期日程・中期日程）では、大学入学共通テストおよび小論文試験により①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価します。
- (2) 学校推薦型選抜 A と社会人選抜では、英語の外部検定試験の活用と小論文試験によって、①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価し、学校推薦型選抜 B ではこれらの評価を大学入学共通テストによって行います。
- (3) すべての選抜区分において、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、面接試験と提出書類の評価によって判定します。

8. 今後の公表予定

平成 33 年度(2021 年度)入学者選抜の具体的な実施内容等の詳細については、平成 30 年度(2018 年度)中に本学のホームページで公表します。